



相談支援センター
くらふと

精神障害者
地域移行促進事業
(東京都委託事業)

わからないこと、
不安なことを解消するために、
いっしょに考えます



精神障害者地域移行促進事業は、地域移行コーディネーター及び安心生活支援員が、地域移行支援や地域定着支援を行う事業所、地域の関係機関等に対して、専門的な指導・助言等の支援を行うとともに、地域生活を支える体制づくりを支援し、精神障害者の地域移行・地域定着を促進するために実施されている事業です。入院中の方に直接支援するのではなく、入院中の方を支援する関係機関をバックアップすることがこの事業の役割です。またピアサポーターの啓発・活用についての助言なども行っています。

「入院による治療の必要性は低いにもかかわらず、地域で暮らすための支援が不足しているために退院できない」精神科の病棟にはこのような「社会的入院」を余儀なくされている方が未だに多くいます。社会的入院が長引くにつれて地域での暮らしへ戻ることが難しくなってしまうのが現状です。難しくなってしまう要因については、地域ごとの課題も各地域に共通する課題もあります。この事業では、各自治体が地域の抱える様々な課題を取りこぼさないようサポートします。地域移行の状況について、地域移行に携わる関係者から聞き取りを行い、それぞれの街ごとの課題を話し合い、協議の場を設け、「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム」を実現するためのアイデア出しや協議のお手伝いをしていきます。

当法人で受託して2年目になる今年は、埋もれている課題を明らかにするため、各区への働きかけを強化していきたいと思います。またこの事業は医療機関や自治体、地域の事業所の協力が欠かせない事業であり、事業への理解を深めてもらえるよう活動していきたいと思います。

コロナ禍の影響を受け、区市町村、各事業者等、精神科病院いずれもこうした地域課題にどのように向き合うべきか苦慮している状況ではありますが、担当エリアの関係者の方たちと連携しながら、今できることを考えていければと思っています。